

水産業強化支援事業事後評価報告書

		山口県漁港漁場整備課
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	29-1 30-1
事業実施主体	下松市	
実施地区名	周南・下松地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	平成29～令和1年度	令和4年度
交付金額	343,003,000円	
事業計画の内容	種苗生産施設の整備	
評価	成果目標	種苗生産尾数の増加
	現状値	1,252,735尾
	目標値	960,000尾
	(1) 現状値の説明	令和4年度においては、オニオコゼ:273,026尾、キジハタ:295,812尾、マコガレイ:566,749尾、アイナメ:78,495尾、ウマヅラハギ:38,653尾、合計1,252,735尾を生産・出荷しており、設定した目標値960,000尾を上回るものであった。
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	本施設の整備により種苗生産尾数の増加を図ることができ、令和2年度以降、地区周辺海域への放流尾数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により地区漁業者の出漁日数は減少となったことから、当地区の浜の活力再生プランで定める所得目標の達成には至っていない。しかしながら、地区漁業者から「潜水漁業の際に若魚が見受けられた」との報告を受けており、今後の漁獲量の増大による経済効果が期待される。
	(3) 所見	施設整備により、新規生産魚種としてウマヅラハギ、アイナメの生産が可能となり、放流尾数の増加ニーズに対応した生産規模の拡大を果たすことができている。
	(4) 評価機関への意見等	—
	今後の改善方向等に関する分析	令和5年度以降においても、種苗生産・中間育成・放流事業を継続するとともに、新規種苗生産魚種の開発等についても当施設を活用することで、限りある水産資源の維持拡大と漁業者の所得の向上を図る。